

岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院

病院の概要

開設時期：昭和23年1月10日
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会
院長名：勝村 直樹
病床数：495床
標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、心療内科、血液内科、腎臓内科、小児科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、内分泌内科、肝臓内科、消化器内視鏡内科、消化器外科、血管外科、肝臓・胆嚢・膵臓外科、乳腺内分泌外科、神経小児科、呼吸器外科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

医師数：119名
指導医師数：50名
外来患者数：915.8名/日
入院患者数：306.5名/日
所在地：関市若草通5-1
URL：http://www.chuno.gfkosei.or.jp/



病院の特徴

鶉飼で知られる長良川中流域の関市に立地し、長良川流域の美濃市・郡上市を含む人口約15万人の地域をカバーする中濃医療圏の基幹となる医療機関です。救命救急センターを併設する急性期病院であり、一般診療から3次救急医療まで高度で幅広い医療を地域に提供しています。

院長メッセージ



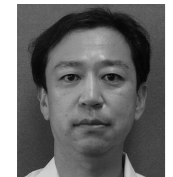
勝村直樹

中濃厚生病院は中濃地域の中でも、関市・美濃市・郡上市といった長良川上流～中流域を中心とした地域の中核病院であり、地域の中で医療を完結できるよう整備を進めてきております。三次救急医療施設、へき地医療拠点病院、第二種感染症指定医療機関、地域災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携拠点病院等の指定も受けており、幅広い医療を地域に密着して行っています。

初期臨床研修・専門医研修ともに、Generalistを目指す人も、Specialistを目指す人も、自分のキャリア形成をすすめていく上でのエネルギーとなるのは、「患者さんやスタッフから信頼され感謝されること」「患者さんに感動を与え、患者さんから感動を頂くこと」ではないでしょうか。そのためには、日々研鑽し、自己を成長させ続けること、成長を実感できることが必要であり、それが何年たっても医師という仕事に興味を持ち続けることができることにつながると思います。

当院での研修でたくさんの「感動」を経験し、生涯にわたっての長い医師生活を充実させるためのCoreになる部分を充実させて欲しいと思います。是非、我々と共に中濃厚生病院で成長していきましょう。

指導医メッセージ



白木 亮

当院の指導体制は日直を含めて指導医と上級研修医との「屋根瓦方式」で行っています。当院の研修では、まず、必修科目である研修を通して臨床医として必要な「基礎診療能力」と「医師と患者さんの良好な関係を構築する力」を、豊富な症例を経験しながら身に付けて行きます。患者さんに共感する力を鍛えるとともに、患者さんとの感動のやりとりを体験してもらいたいと思います。また、2年目には自身の将来進みたい方向を見据えた上で、多彩な診療科の中から選択した診療科での研修を通してモチベーションを高めながら、その後の専門研修へとシームレスに移行できるよう基礎固めを行います。初期研修修了後、また、専門研修修了後のいずれも、当院は皆さんが望む方向で成長を続けられるよう多様なキャリア形成の支援を行います。

研修医メッセージ

(初期研修修了者)
中濃厚生病院での2年間の初期研修では、様々な疾患を経験することができ、また、各ローテ診療科の研修では指導医や上級医の先生方からの熱心なご指導もあり多くのことを学びました。当院の魅力は、三次救急病院であり common disease から重症まで幅広く経験できることや、内科系・外科系ともに手技を経験できる機会が多いところです。また、地域に根ざした病院であり、地域医療にも貢献できます。

患者さんも優しいですが、病院で一緒に働く職員の方々も優しく、とても働きやすい環境だと思っています。

私は、当院で専門研修(後期研修)を開始しましたが、困った時は科の垣根を超えて多くの先生がアドバイスをくださり、当院を希望して良かったと感じています。最近では県外からの研修医も増えています。ぜひ一度見学にお越しください。

(2年次研修医)
中濃厚生病院は岐阜県の中濃地区の中核病院であるため軽症例から重症例まで幅広く経験することができます。当直で経験した症例は毎回研修担当の先生からフィードバックを受けることができ、自分の診療を振り返る良い機会となっています。各科の先生方、スタッフの方も優しい方ばかりで働きやすい環境であることも魅力であると思います。ぜひ一度見学にお越しください。

(1年次研修医)
中濃厚生病院は多くの診療科が揃っており、上級医による指導体制が充実しているためさまざまな手技を経験することができます。当直では2年目の先生や上級医と一緒に入るので困ったことがあればサポートが受けられる環境となっています。研修医同士で切磋琢磨しながら充実した研修ができます。県外からの研修医も多いので岐阜県の方はもちろん、県外の方もぜひ見学にお越しください。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

研修スケジュール

当院の研修スケジュールは、1年目に内科24週、救命救急12週(麻酔科4週を含む。)、小児科4週、外科4週、産婦人科4週を、2年目に地域医療4週、精神科4週を研修します。残り期間は研修医の希望に沿って自由に研修先を選択することができます。

コース別	1年次	2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科(24週)・救急(8週)・麻酔科(4週)・外科(4週)・小児科(4週)・産婦人科(4週)・オリエンテーション(2週)・調整週(2週)	地域医療(4週)・精神科(4週)												
			選択診療科(44週)											

研修協力病院・施設

(協力型病院)	(協力施設)	(協力施設)
医療法人春陽会慈恵中央病院	岐阜県赤十字血液センター	美濃市立美濃病院
岐阜県関保健所	関市国民健康保険板取診療所	関市国民健康保険戸河診療所
郡上市市民病院	関市国民健康保険津保川診療所	県北西部地域医療センター国保和良診療所
関市国民健康保険津保川診療所	県北西部地域医療センター国保高鷲診療所	高山市国保庄川診療所
県北西部地域医療センター国保高鷲診療所	岐阜ハートセンター	みどり病院

後期研修・専門研修

- 内科(定員5名)……中濃厚生病院を基幹病院として、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜市民病院・関中央病院・美濃市立美濃病院・郡上市市民病院・岐阜県立下呂温泉病院・東濃厚生病院・揖斐厚生病院・久美愛厚生病院・岐北厚生病院・西美濃厚生病院・下呂市立金山病院を連携施設、県北西部地域医療センター(白鳥病院・和良診療所)・津保川診療所を特別連携施設としています。
- 麻酔科(定員2名)……中濃厚生病院を基幹病院として、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜市民病院・総合大雄会病院・松波総合病院を連携施設としています。
- その他16領域のほとんどは連携施設として、各基幹施設の専門研修プログラムに参加しています。

研修プログラムの目標

医師として必要な「基本的な価値観」、「到達すべき資質・能力」、「基本的診療業務」を身に着けます。

忙しくても誇りを持って楽しく仕事をすることができ、患者さんや家族との良好な関係の構築とともに患者さんのもとへ何度でも厭わずに訪れ、患者さんから学び姿勢を持ち、自己の成長に繋げることを目標とします。

研修プログラムの特徴

当院の研修プログラムでは、清流長良川を若鮎が遡上していきながら成長していく姿をイメージし、初期研修医がよい環境の中で、日々成長し誇りを持って楽しく仕事ができる、一人前となる医師育成を目指していきます。

このため、研修医は、患者さんの初診・入院から退院・通院まで一貫して担当医として関わり、患者さんの問題解決に至るまで責任を持って対応しながら、問題解決能力を身に付けていきます。また、研修では患者さんのベッドサイドに足繁く通うことを第一として、EBM(Evidence-Based Medicine)だけでなく、NBM(Narrative-based Medicine)も大事にします。

募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：10名

身分：嘱託常勤職員

給与：1年次 約560,000円(手当込) / 月 賞与 980,000円
2年次 約600,000円(手当込) / 月 賞与1,250,000円
年取 1年次 約7,700,000円(手当込)(令和4年度平均額)
2年次 約8,450,000円(手当込)(令和4年度平均額)

住居等：住居手当として最大27,000円を補助

保険等：各種保険制度有り

連絡先

中濃厚生病院 企画総務課 臨床研修担当
電話番号：0575-22-2211
fax：0575-24-7139
E-mail：soumu5@chuno.gfkosei.or.jp

交通案内



- ・車でお越しの場合
東海北陸自動車道 関ICより約10分
東海北陸自動車道 美濃ICより約10分
- ・公共交通機関をご利用の場合
長良川鉄道 関市役所前駅下車 徒歩約15分
岐阜バス 岐阜関線 関シティーターミナル下車 徒歩約20分